

平成19年5月期中間決算概況

住江織物株式会社

URL <http://suminoe.jp/>

証券コードNo3501 東証・大証一部

<本資料に関する注意事項>

本資料記載の予想は、将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる場合があります。

目次

P. 1	表紙
P. 2	目次
P. 3	2007年5月期中間業績について (連結業績・事業セグメント内訳・品目別内訳・B/S C/F)
P. 7	見通しについて
P. 11	トピック ①リサイクルタイルカーペット ②ホテル向けロールカーペット見本帳 ③カーテン総合見本帳 ④ホームユース向けカーペット見本帳
P. 15	営業実績 (インテリア 自動車・車両)
P. 19	会社概要

2007年5月期中間(06/6~06/11)業績

(単位:百万円)

【連結】	前中間実績	当中間実績	前期比 (増減額)	前期比 (%)	期初計画	計画比 (%)
売上高	37,275	38,698	1,423	103.8%	38,000	101.8%
営業利益	949	1,116	167	117.6%	900	124.0%
営業利益率	2.6%	2.9%			2.4%	
経常利益	1,132	1,279	147	113.0%	1,150	111.2%
経常利益率	3.1%	3.3%			3.0%	
当期純利益	1,007	2,372	1,365	235.6%	2,300	103.1%
当期利益率	2.7%	6.1%			6.1%	

連結売上高は 前期比14億円(3.8%)増

インテリア事業、自動車・車両事業ともに堅実に売上高確保、利益面では、原材料値上げによるコストアップ額(年額5億円想定)のうち、40%が上期に影響したものの、売上高増、生産効率向上、試作費・物流費の業務構造改革により、営業利益・経常利益ともに前年実績および期初計画を上回った。

【単独】	前中間実績	当中間実績	前期比 (増減額)	前期比 (%)	期初計画	計画比 (%)
売上高	27,313	27,481	168	100.6%	26,500	103.7%
営業利益	460	671	211	145.9%	530	126.6%
営業利益率	1.7%	2.4%			2.0%	
経常利益	894	1,021	127	114.2%	800	127.6%
経常利益率	3.3%	3.7%			3.0%	
当期純利益	851	2,376	1,525	279.2%	2,100	113.1%
当期利益率	3.1%	8.6%			7.9%	

当期純利益について

税務上の繰越欠損金解消と利益創出が可能な体質に改善されたことを前提に、新たな繰延税金資産額を計上したことにより、法人税等調整額16億円を算入、当期純利益23億円となった。

連結業績の事業セグメント別内訳

(単位:百万円)

売上高	前中間	当中間	前期比 (増減額)	前期比 (%)
インテリア	17,911	18,404	493	102.8%
自動車・車両	16,404	17,054	650	104.0%
その他	3,060	3,365	305	110.0%
消去	△100	△126	△26	
合計	37,275	38,698	1,422	103.8%

営業利益	前中間	当中間	前期比 (増減額)	前期比 (%)
インテリア	522	498	△24	95.4%
自動車・車両	1,037	1,089	52	105.0%
その他	136	289	153	212.5%
消去	△746	△760	△14	
合計	949	1,116	167	117.6%

インテリア事業・前期比5億円増収、2千万円減益

新規住宅着工件数やリニューアル物件の増加を背景に、市場の下げ止まりがうかがえたが、販売価格は依然として厳しい状況で、原材料値上げの市場転嫁も進まず、激しい受注争いが続いた。そのようななか、市場・顧客ニーズにきめ細かく対応した新商品や環境対応型商品を意欲的に投入、マーケット別の販売戦略を積極的に展開した結果、売上高増となった。利益面では、新商品の拡販に向け、見本帳等販売費を積極的に投入したことや、原材料価格の上昇が重なり、前期と同水準となった。

自動車・車両事業・前期比6億円増収、5千万円増益

自動車分野では、国内市場において販売が停滞したが、好調な海外市場では米国子会社の売上高が拡大し(前期比13億円増の22億円)、当分野の売上高は前期比5億円増となった。当中間期における海外売上高比率は自動車・車両事業分野で13%、全社総売上高に占める比率は6%(前中間期2.5%)となった。

車両分野では、リサイクル可能な座席クッション材とシート材の複合商材や、非塩ビ(オレフィン)床材など、環境対応型商材を積極的に展開、前期比1億円の売上増となった。

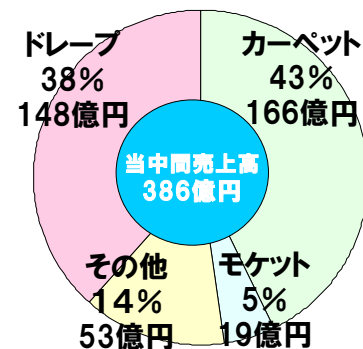
その他事業・3億円増収、1億5千万円増益

中国家電事業OEM製造で2億円増、環境対応型資材で1億円増となった。

連結業績の品目別内訳

(単位:百万円)

	前中間	構成比	当中間	構成比	前期比 (増減額)	前期比 (%)
カーペット	15,209	40.8%	16,607	42.9%	1,398	109.2%
ドレープ	14,778	39.6%	14,811	38.3%	33	100.2%
モケット	2,196	5.9%	1,933	5.0%	△263	88.0%
その他	5,091	13.7%	5,346	13.8%	255	105.0%
合計	37,275	100.0%	38,698	100.0%	1,423	103.8%



創業以来のコア商品であるカーペットを インテリア市場・自動車フロア材市場で販売強化(前年同期比9%増)

インテリア事業分野では、顧客別に住江織物ならではのきめ細かい商品政策や、得意とする提案型営業を強化。自動車事業分野では、米国子会社のフロアカーペット製造ラインに設備投資を積極的に行い、生産能力の拡充を図り、市場規模の拡大を推進した。

連結B/S・連結C/F

(単位:百万円)

インテリア商品の季節的要因と、米国子会社の業容拡大に伴う売上債権および在庫増加。

固定資産取得による支出が増加。米国および中国の子会社の設備増強で5億円(米国で4億円、中国1億円)の投資を行った。

連結 B/S	前中間	当中間
総資産	77,739	79,390
現預金	6,793	6,098
売上債権	20,458	21,828
在庫	8,951	9,413
その他流動資産	2,971	3,248
固定資産	38,566	38,803
総負債	51,631	49,826
短期借入金・一年以内社債	10,069	12,648
長期借入金・社債	6,318	3,269
その他負債	35,244	33,909
純資産	26,108	29,563
少数株主持分	217	331
利益剰余金	2,666	5,897
その他純資産	23,225	23,335

連結 C/F	前中間	当中間
営業活動によるC/F	△413	△262
投資活動によるC/F	425	△580
フリーキャッシュフロー	12	△842
財務活動によるC/F	276	△1,271
換算レート変動の影響	2	27
期中の増減額	290	△2,086
期首の現金残高	6,503	8,184
期末の現金残高	6,793	6,098

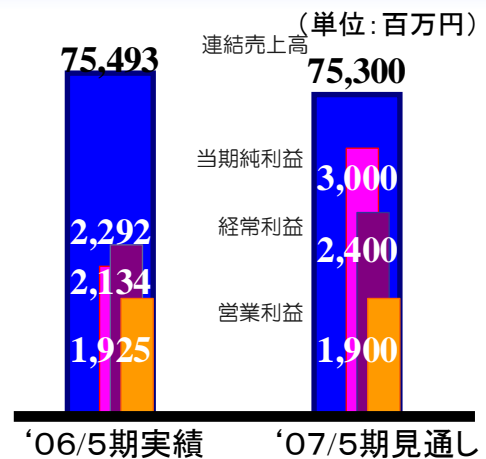
長・短借入金の返済による支出増加

法人税等調整額16億円を計上したことに伴い、利益剰余金は32億円増加。自己資本比率36.8%へ(前中間33.3%)

2007年5月期通期見通し

07年5月期 通期見通し予想

- 連結売上高 753億円
- // 営業利益 19億円
- // 経常利益 24億円
- // 当期純利益 30億円



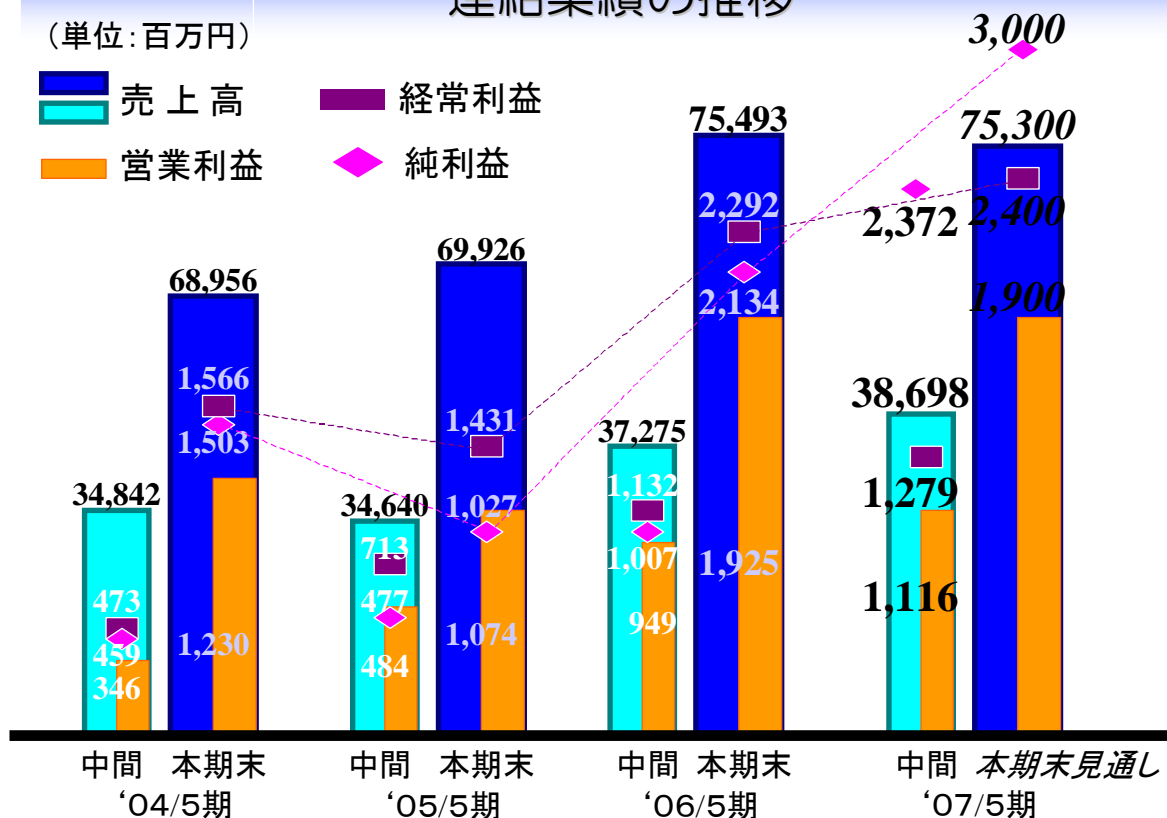
期初計画を据置きし、連結売上高は753億円の見通し

期初計画は、自動車内装材の海外輸出特需のあった前年実績を踏まえ、今期売上高2億円の減収、経常利益1億円の増益を想定したもの。業績見通しは、売上高伸長の要である米国子会社が計画通りに推移していく見込みであるが、国内販売ではまだまだ厳しさが予想され、期初計画を据置き、連結売上高753億円としている。利益面では、当中間は期初計画を上回っているが、原材料値上げ下期負荷分を考慮し、期初計画を据置いている。

連結業績の推移

(単位:百万円)

- 売上高
- 営業利益
- 経常利益
- ◆ 純利益



配当および設備投資について

■ 配当について 中間配当実施へ

株主への利益還元の機会増加を図るため、当中間期より1株につき2円50銭の中間配当を実施。期末配当についても1株につき2円50銭、通期5円を予定。（前年通期実績3円50銭）

■ 設備投資について 得意分野の事業基盤強化へ向けて設備投資をタイムリーに実施

- ペットボトル再生繊維“スミトロン”製造プラント増設（6億円）
2007年5月稼働に向け1ラインを増設、4ライン体制へ。年間生産量を1800tから3000tに上げる。現在ヒット中のラグマットだけでなく、自動車用カーペット向けも視野に商品開発力強化を図る。
- 車両用座席クッション材製造ライン（1億円）
リサイクル性にすぐれた車両用座席クッション材の製造設備を導入。鉄道各社への開発、性能試験対応強化を図ると共に、製造ラインの内製化を推進する。
- 米国子会社製造基盤強化（6億円）
自動車内装材子会社であるSTAに、カーペット製造設備をさらに増設、生産供給能力の拡大を図る。

9

中期経営計画“ACTION-2008”概要

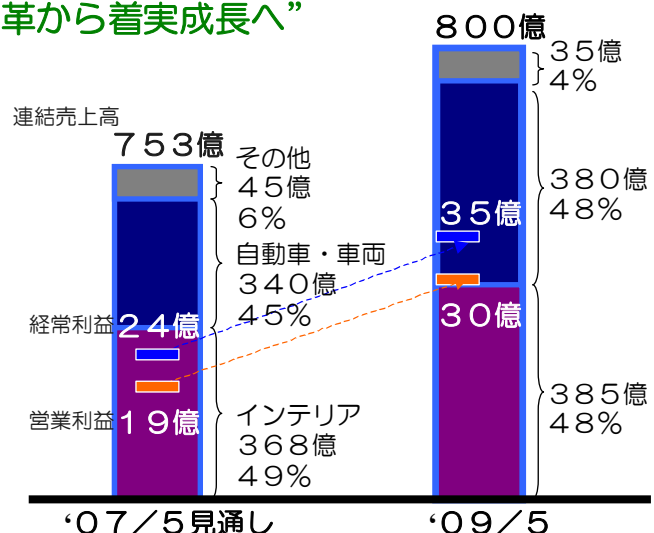
“事業構造改革から着実成長へ”

最終年度2009年5月期 連結売上高800億円へ

2006年6月よりスタートした中期経営計画“ACTION-2008”は、「事業体質の強化」と「収益基盤の拡充」を基本方針とし、初年度となる当期より積極的に諸施策を展開しています。

【主な目標】

- 「インテリア内装資材」と「自動車・鉄道車両内装資材」の比率を50%：50%
- 09年5月期までに営業利益率3.5%以上
- 09年5月期までに売上高に占める海外売上高は10%以上
- 3年間で20億円の有利子負債圧縮
- 自己資本比率38%へ



19億	営業利益	30億
24億	経常利益	35億
30億	当期利益	20億
2.5%	営業利益率	3.7%
10%	自己資本当期純利益率	6.8%
3%	総資産経常利益率	4.4%

10

リサイクルタイルカーペット「SG-300」発売

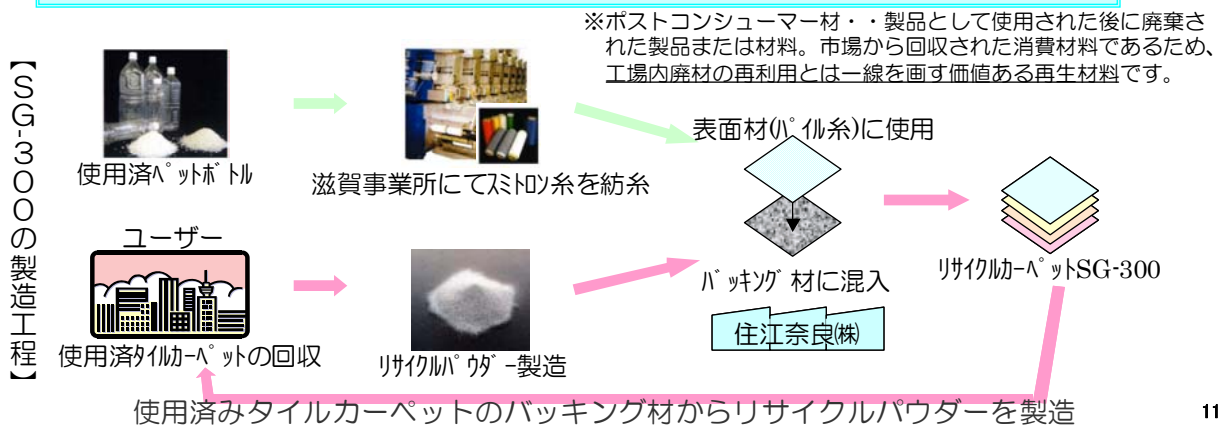
グリーン購入法基準を満たした環境対応商品「SG-100」、「SG-200」に続き、再生材料比率を25%まで高めた「SG-300」を発売しました。

バック材には、SG-100、SG-200と同様に再生材料を用い、表面材のパイル糸には当社で製造しているペットボトル再生繊維「スミトロン」を用いることで、再生材料比率を25%まで高めました。グリーン購入法基準だけでなく、エコマーク商品に認定されております

環境経営に積極的に取り組む企業や、病院、公共施設等で新たなフロア材として注目を集めております。



ポストコンシューマー材だけで再生材料25%使用を実現⇒循環型社会へ貢献！



ロールカーペット総合見本帳「Carpet Concierge」発表

ホテル等の快適性を強く要求される市場に特化したロールカーペット見本帳「Carpet Concierge (カーペットコンシェルジュ)」を2006年9月に発表いたしました。

30色展開のウールカーペット「ウールレックス」をはじめ、中高級品ゾーンをターゲットにフロアデザインパターン集を作成、積極的に販売活動を行っており、確かな手応えを感じております。

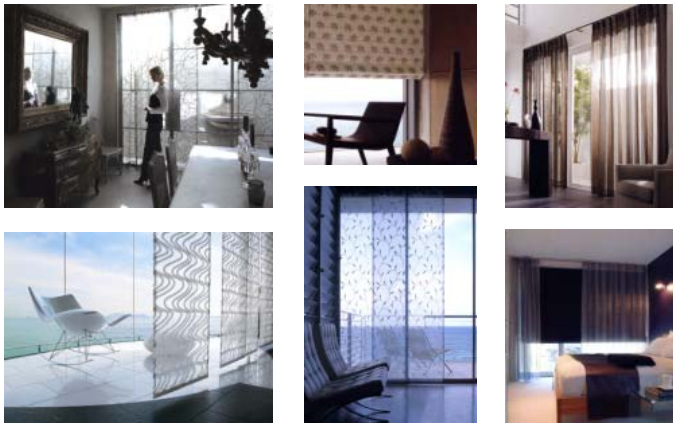
また、ほとんどの商品が当社の独自技術であるトリプルフレッシュ消臭加工を施しております。



カーテン総合見本帳「MODE-S Vol.3」発表

カーテン総合見本帳 「MODE-S (モード S) Vol.3」発表

高いファッション性と高品質な素材にこだわった、住江カーテンの総合ブランド「MODE-S」シリーズの最新見本帳を06年7月に発表しました。家庭向けからコントラクト向けまで281柄・600アイテムをそろえ、住江ブランドのフラッグシップとなるラインナップで、現在順調に推移しております。



MODE-S Vol.3のテーマは 「W-Mix(ダブルミックス)」

フランス語で「2つのものをミックスさせる」という意味のとおり、“光るものと、光らないもの”、“透けるものと、透けないもの”、“メタリックなもの、ナチュラルなもの”など、コントラスト感のある素材やテイストの組合せをコンセプトとしています。

13

ホームユース向けカーペット見本帳を積極的に発表

「HOME Rug Mat&World Carpet Collection 2006-2007」

インテリア専門店、家具店、大手量販店、ライフスタイルショップ等で販売を行っているホームユース向けカーペットブランド「HOME」の新シリーズを発表しました。高感度なデザインと、くつろぎの空間をテーマに、多彩な柄と豊富なカラーバリエーションを取り揃えました。



「COLOR PALETTE Vol.1」

カット料金無料のオーダーカーペットシリーズをカラーパレットとして刷新いたしました。全4柄60色の多彩な色展開で、部屋の形にあったカットや、用途に合わせたコーディネートが可能です。防音、防災、防ダニ加工商品です。



- 張り出した柱や作りつけの家具、斜めになった壁など、部屋の形状に合わせたカットが可能。
- 本棚やカップボードなど、重たい家具を動かさずに敷き詰められます。

「BIG SIZE RUG & PIECE CARPET VOL.3」

心地よさやソフトなタッチを追求したビッグサイズラグシリーズの最新見本帳。当社が世界で初めて開発した三次元捲縮ポリエステル長繊維「スミトロン」を使ったスミトロンマルチシャギーや、スミトロンサキシニーなど、豊富なサイズバリエーションを用意しました。



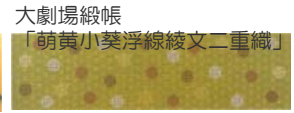
14

‘07年5月期中間の営業実績（インテリア）

～日本伝統芸能の殿堂～

国立劇場にカーペットと緞帳を納入

校倉造（あぜくらづくり）を模した重厚な外観で知られる国立劇場は、日本の伝統芸能の保存・新興を目的として1966年にオープン。開場40周年を迎え、緞帳をはじめ内装全般に渡る大規模な改装工事が行われました。当社からは、大劇場、小劇場のロビーにタピストロンタイルカーペット、客席に特注無地タイルカーペット、綴緞帳を3点納入いたしました。



四季の移り変わりを画面右から左に配した
大劇場緞帳「四季草花図」



小劇場緞帳
「雲取摺箔唐松模様」



1m角のタピストロンタイル

青い波と桜吹雪の柄を配置した3つのパターンをランダムに組み合わせることにより、一枚ものの別注カーペットのような、奥行きのある表情を演出しました。

- A. ベース柄
- B. 花が少ない柄
- C. 花が多い柄

ランダムに組合せることで。

A	A	B	B
A	B	C	C
B	B	C	B
A	B	B	C



別注カーペットのような表情に！



‘07年5月期中間の営業実績（インテリア）

三田高原病院に トリプルフレッシュプラスカーテンを納入

医学的管理による介護やリハビリテーションを目的とした医療施設、三田高原病院（兵庫県三田市）に当社のトリプルフレッシュプラスカーテンが納入されました。



ベッド間の間仕切りカーテン

介護療養型医療施設という性格上、介護に係る臭いに対して消臭効果の強い当社トリプルフレッシュ製品が選ばれました。



レクリエーションルームのカーテン
軽やかなラインで描かれた
レトロモダンな花柄



トリプルフレッシュプラス
ホルムアルデヒドやタバコ臭などの生活臭を吸着し、無害な物質に分解する従来のトリプルフレッシュに加え、汗臭や便臭、加齢臭といった介護臭を吸着分解する機能を追加した住江独自の消臭技術です。

‘07年5月期中間の営業実績（自動車・車両）

ダイハツ“ムーヴ”にファブリックを納入



軽乗用車市場の人気車種であるダイハツ“ムーヴ”がフルモデルチェンジされ、当社のファブリックが採用されました。標準グレードはメインシートにジャージ、サイド・ドア材にトリコットを使い、内装色はグレーに統一され、落ち着いた室内空間を演出しています。カスタムグレードのサイド・ドア材にはブラック色のジャージが採用され、スポーティな内装となっております。

ホンダ“ストリーム”にファブリックとフロアマットを納入



ホンダの主力車種である“ストリーム”に多くの当社製品が採用されました。シートメイン材にメッシュ調ダブルラッセル、サイド・ドア材にはスウェードトリコット、背裏材にトリコット、またフロアマットにニードルパンチが装着されております。ストリームの流れるような外観にあわせ、アクティブな質感を持った室内となっております。

17

‘07年5月期中間の営業実績（自動車・車両）

神戸空港－関西空港・海上アクセス

「神戸ベイシャトル」にシートおよびクッション材を納入

「海から行く、関空は近い。」をキャッチフレーズに、神戸空港－関西空港間を29分で結ぶ高速船として就航した「神戸ベイシャトル」に、当社内装材が採用されました。シート表皮材にプリントモケットを、シートクッション材にポリエステル硬綿でできた車両用クッション材を納入しました。



シート生地だけでなく、クッション材も含めた「椅子」として納入しました。クッション材は、船舶の厳しい難燃基準をクリアする安全性の高い商品です。



シンプルなドット柄のプリントのため、色出しは細心のチューニングとなりました。

次世代車両用クッション材

ポリエステル綿を特殊加工したクッション材です。従来のポリウレタンクッション材よりも弾力性・耐久性に優れ、またリサイクルが可能のため次世代車両用クッション材として高い評価を得ております。現在、JR・私鉄等での取扱高は15%弱です。

18

会社概要

正式社名	住江織物株式会社 (Suminoe Textile Co., Ltd.)
本社住所	大阪府中央区南船場3-11-20
設立年月日	1930年12月26日 (創業1883年)
代表者氏名	吉川 一三
資本金	95億5千4百万円
従業員数	連結1,709名 単独463名 (2006年5月末現在)
上場市場名	東京 (1部) 大阪 (1部)
東証業種名	繊維製品
連結売上高	754億9千3百万円 (2006年5月期)
単独売上高	541億5千2百万円 (2006年5月期)

沿革

1883年	大阪住吉で手織り段通の製作を始める
1891年	国会議事堂にカーペットを納入
1913年	住江織物合資会社を設立
1930年	住江織物株式会社を設立
1949年	株式上場
1954年	国内初タフティングカーペット機を導入
1955年	国産軽自動車の草分け「フライング・フェザー」を製作・販売
1958年	自動車用カーペット、シート地の生産を始める
1980年	国内初タイルカーペットの生産を奈良工場を開始
1998年	消臭機能「トリプルフレッシュ」開発 ISO9002登録
1999年	インテリア商品販売会社 (株)スミノエを設立
2003年	米国に自動車内装材の製造販売会社を設立 中国にホットカーペット製造販売会社を設立 中国・インドネシアに自動車内装材の製造販売会社を合併で設立
2004年	奈良工場・床材事業部門を住江奈良株式会社として分社設立 長崎県にサイドカーテン・エアバックの製造販売会社を合併で設立
2005年	中国 広州市に自動車内装材の製造販売会社を合併で設立

主な営業品目

インテリア内装材

- 床材
 - 各種カーペット
 - 各種ラグマット
 - 硬質床材・ウッドフロア
 - フリーアクセスフロア 他
- カーテン
 - 各種カーテン
 - ローマンシェード
 - カーテンレール・アクセサリ
 - 緞帳 他各種施設用諸幕 他
- 壁装材・美術工芸織物
 - 各種壁装材
 - 各種緞帳
 - タペストリー
 - テーブルセンター 他
- 椅子張地

自動車・鉄道車両内装材

- 自動車内装材
 - カーペット
 - シート表皮材
 - 天井材
 - 自動車用品（オプションマット他）
 - 他、自動車内装材全般
- 鉄道車両内装材
 - シート表皮材
 - カーテン
 - カーペット
 - 車両用クッション材
 - 広告宣伝シート 他

その他

- ナッセンジャープリント
- 顔料プリント 遮水シート
- 床暖房 福祉機材
- 空気消臭清浄機 他

主なグループ会社



※持分法適用関連会社